



昭和60年6月選定

名水所在地／鳥取市気高町殿

古来から湧き出る清冷な水

鳥取市気高町殿にある布勢平神社境内の巨石の下から、清冷な清水がこんこんと湧き出ている。この水がいつごろ発見され、利用されたかは不明であるが、その昔、この辺りを治めていた鹿野城主亀井茲矩(かめいこれのり)が、「その清冷さ氷のごとき」と賞賛し、傍らに涼亭を設け、夏の日には日毎に納涼したと記されている。明治42年には、この清水を利用して町内でも初めての水道が、住民の力によって道路沿に敷設され、現在に至っている。

その豊潤な水量と良質清冷をもって、広く近隣に知らされている。現在、その付近は鳥取県自然環境保全地域に指定されるなど良好な自然環境を保っている。

また、この清水を守るため、地元住民による積極的な保全活動が行われている。

このような地域住民による水環境の保全が認められて、平成20年6月には環境省から「平成の名水百選」に認定された。

アクセス

- JR山陰線「浜村駅」下車→循環バス「上殿バス停」下車→徒歩4分

問い合わせ

鳥取市 生活環境課
郵便番号: 680-8571
住 所: 鳥取市尚徳町116番地
電話番号: 0857-20-3216



<http://www.city.tottori.lg.jp/>



昭和60年3月選定

名水所在地／米子市淀江町高井谷

清らかな湧水は大山の神々からの贈り物

「天の真名井」という言葉は『古事記』や『日本書紀』にも見られる。「真名井」とは神聖な井戸のことをいい、「天の真名井」はその最上級の敬称である。

この泉がある高井谷の氏神・下津守神社(現在は上津守神社)の古棟札には「天乃真名井乃清久潔幾与元水於降玉布」と記されている。

昭和60年に環境庁(当時)の名水百選に指定された。

一日に約2,500tの湧水があり、水温は年間を通じて約14℃と一定であり、夏は冷たく冬は温かい。地元の住民の生活用水、農業用水などに広く活用さ

れている。

駐車場からの遊歩道、水車小屋、あずまやなど周辺整備もされており、県内外から多くの観光客が訪れている。

地元では、四季折々に「底ざらえ」をして水神を祭り、今も古代そのままの神聖な場所をしてその姿を保っている。

なお、淀江町内には佐奈迫泉(さなめのいずみ)(西原)、田井の沼(たいのかま)(福井)、本宮の泉(ほんぐうのいずみ)(本宮)など、古くから山麓の各所に豊富な清水がこんこんと湧き出しており、古くから文明が開けていたと考えられる。

アクセス

- (自動車)山陰道淀江ICより車で5分
- (公共交通機関)JR山陰本線「淀江駅」下車→巡回バス(どんぐりココロ)約10分「高井谷バス停」下車→徒歩5分
※巡回バスは日・祝連休
- 駐車場あり(駐車場から徒歩5分)

問い合わせ

米子市淀江支所 よどえまちづくり推進室
郵便番号: 689-3492
住 所: 米子市淀江町西原1129-番地の1
電話番号: 0859-56-3164



<http://www.city.yonago.lg.jp/>



平成2年12月選定

名水所在地／西伯郡伯耆町丸山1647番地1

森と清流の泉

平成20年6月に「平成の名水百選」に認定されたこの湧水は、地蔵滝の泉と呼ばれ、かつては昼でもうす暗い森林に覆われ、五メートルほどの滝だったが、昭和34年の伊勢湾台風に伴う豪雨等で崩壊し、現在の泉の状態となっている。

地蔵滝は、古くから出雲・米子方面から大山への道筋の要衝の一つに当たり、参詣者が休息し気力回復して大山寺を目指す憩いの場として親しまれてきた。また、祀られている地蔵菩薩は大山寺の地蔵信仰とも重なり、丸山集落の水源を守る象徴だけでなく、旅の安全の守り仏でもあった。

地蔵滝から湧き出る水は、年間を通じて11度に保たれ、日量19.4万トンにもなる。八郷水道(370世帯)に供給されるほか、約200ヘクタールの灌漑用水としても利用され、ここで生産される八郷米は良食味米として極めて高い評価を得ており、近くの農産物直売所「大山ガーデンプレイス」で購入することができる。

泉の周辺は別名「せり川」と呼ばれてせりが生い茂り、またこの地一帯は赤松の美林に囲まれ、『森と清流の里』として都市と農山村との交流にも「ふれあいの水辺」としての役割を果たし、地元住民による保全活動が永く行われている。

アクセス

- JR伯備線「岸本駅」下車→町営デマンドバス15分「大山ガーデンプレイスバス停」下車→徒歩1km
- 自家用車：国道181号線伯耆町役場本庁舎左折6km→大山ガーデンプレイス交差点左折1km
- 駐車場あり(2~3台/無料)

問い合わせ

伯耆町 産業課
郵便番号：689-4201
住所：西伯郡伯耆町溝口647番地
電話番号：0859-62-0723



<http://www.houki-town.jp/>



昭和60年6月選定

名水所在地／東伯郡湯梨浜町大字宇野743番地

お地蔵さんとの生活に根づく憩いの泉

「南無妙法蓮華経」と彫られた巨石の側にお地蔵さん3体を祀る法華堂がある。その脇から清冽な水が流れ出ている。

古来からこの流れが枯れたことが無いといわれ、町内外から多くの方が水を汲みに来られるのが「宇野地蔵ダキ」と呼ばれる名水である。

400年以上前から先祖伝来の宝・誇りとして地域住民に大切に守られ今に至っている。

また、この水は宇野地区に上水道が完備される昭和40年代半ばまでは地区の台所用水として、漁業者の船への積み込み水としても利用重宝されていた。

混じり気の無い澄んだこの水は、カルシウムを多く含み、「甘みがあつくせも無くおいしい」と評判である。

地域の生活に溶け込んでいる清澄な水として、平成20年6月には環境省から「平成の名水百選」に選定された。

アクセス

- JR山陰線「倉吉駅」下車→バス25分「宇野東口バス停」下車
- 山陰自動車道「泊東郷IC」から車で5分
- 駐車場あり(地蔵ダキ集会所)

問い合わせ

湯梨浜町 町民課
郵便番号：682-0723
住所：東伯郡湯梨浜町大字久留19番1
電話番号：0858-35-3111



<http://www.yurihama.jp/>



平成2年12月選定

名水所在地／八頭町用呂

古来から湧き出る清冷な水

「因幡志談集考」によると、「村はずれの縄手道の側に名水あり。四社権現の御手洗なり。池の広さ四・五畳、深さ杓尺ばかり、下流(一條の)小川となる。早魃といへ供水涸れず、清冷潔淨(言う許なし)なり。此池の中に昔より一目のうぐい住むという(伝えたり)」とある。

また、水源地から50m下流に国の重要文化財「矢部家」がある。矢部家は、歴史的考察から構築は桃山時代と推定されるが、その祖を若桜城主とし、天正年中尼子氏にやぶれて民家に下り、用呂村に帰農して大庄屋、宗旨庄屋等を勤めた家系である。

この住宅は17世紀初期の建物で、その後350年の間に再三、間仕切装置の変更など修理改造が行われているが、鳥取県

下における最古の民家の一つとして、昭和49年2月5日に国の重要文化財に指定された。

水源地は、八頭町用呂字下用呂部落の山寄りの中央に位置し、現在広さは東西約6m、南北約3m、深さ約30cmであり、現在もなお、水は湧き続け、水温は1年中11度を保っている。湧水量は、毎分1.5トン以上と推察され、水質は硬水で清冷である。

この水は、古くから地域住民の生活用水の他、多目的に利用、愛用され、「用呂の清水」として広く知られており、地域住民により、池周辺の清掃など行われ、大切に管理されている。



アクセス

- 若桜鉄道「丹比駅」下車→路線バス(若桜行)「用呂バス停」下車→徒歩10分

問い合わせ

八頭町役場 産業観光課
郵便番号: 680-0493
住所: 八頭町郡家493
電話番号: 0858-76-0208

<http://www.town.yazu.tottori.jp/dd.aspx>



昭和60年6月選定

名水所在地／米子市淀江町本宮

クリハランの群生する泉

この湧水は国立公園大山の麓にあり、宇田川平野形成のもととなった宇田川の水源地である。

真夏でもひんやりとした空気がたぐい、日量30,000tを湧出する。

水温が年中一定(13℃~14℃)であり、その水の豊富なこと、清らかで味わい深いことなどが好評を呼び、県内外から多数の観光客が訪れている。

近くには「淀江どんぐり村」があり、

ここでも本宮の泉の水を汲むことができる。また名水を使った食事処や市場もあり、多くの人で賑わっている。

県西部では唯一の亜熱帯植物クリハランの群生地としても有名で、泉がはぐくむ豊かな自然を目の当たりにすることができる。

こうしたすばらしい環境を保全するため、地元自治会が積極的に保全活動を行っている。

アクセス

- [自動車] 山陰道米子東ICより車で5分
- [公共交通機関] JR山陰本線「米子駅」下車→路線バス(本宮・大山寺行)約30分「本宮バス停」下車→徒歩10分
- 駐車場あり(駐車場から徒歩3分)

問い合わせ

米子市淀江支所 よどえまちづくり推進室
郵便番号: 689-3492
住所: 米子市淀江町西原1129番地の1
電話番号: 0859-56-3164



<http://www.city.yonago.lg.jp/>



平成25年8月選定

名水所在地／鳥取市気高町睦逢

子宝地蔵の脇から流れ出る清水

睦逢地区の県道から西側に入り込んだところの山裾に地蔵尊は安置されている。裏には「宝永三年丙戌年六月日願主見佐」と刻まれている。宝永三年は西暦1706年で、徳川5代将軍綱吉晩年の時代である。「逢坂村誌」によると、「将軍綱吉には世継ぎが無く生類憐れ

みの令が出ており全国随所に子宝地蔵の建立が流行して信仰を呼んでいる。睦逢地蔵もその願いとして建立されたものと推測される」とある。

この地蔵さんの脇からは年中絶えることなく清水が流れ出ており、この水を汲んで飲用している人もいる。

アクセス

- JR「浜村駅」下車→循環バス「睦逢バス停」下車→徒歩7分
- JR「浜村駅」から車で10分

問い合わせ

鳥取市 生活環境課
郵便番号:680-8571
住所:鳥取市尚徳町116番地
電話番号:0857-20-3216



<http://www.city.tottori.tottori.jp/>



昭和60年6月選定

名水所在地／鳥取市浜坂・鳥取市福部町湯山

伝説と神秘の池

「お種という娘が甘い柿をどこからか取ってくるので、不思議に思った村人が後をつけると、お種は池のほとりで白蛇となって池を泳ぎ、中の島の柿の木に登って実を取っていた。」このような伝説を持つ多鯰ヶ池は、鳥取砂丘の南に隣接した面積約24haの透明度の高い水を湛えた小さな池である。約1万年前に山地の谷が浜から押し寄せた砂丘によってせき止められてできたとされる閉塞池で、最深部で深さ約17mと中国地方で最も深い池とされる。

池の淵にある弁財天の森は常緑樹に覆われており、12~2月頃には自生する北限から南限までの各種の椿が咲き誇る。この中には弁財天を祀る弁天宮や前述のお種さんを祀る祠があり、毎月巳の日には信者が参拝に集まっている。

池の北東部には、スイレンが繁殖して大群生をつくっており、池の名前にもある鯰や、山陰地方では珍しいアカヒレタビラというタナゴの一種、希少種のヌマカイメン等が生息している。

アクセス

- JR山陰線「鳥取駅」からバスで20分

問い合わせ

鳥取市 生活環境課
郵便番号:680-8571
住所:鳥取市尚徳町116番地
電話番号:0857-20-3216



<http://www.city.tottori.tottori.jp/>